

【小学生区分】

宮城県優秀賞

「車イスのおじいちゃんと温泉にとまったこと」

松島町立松島第一小学校

3年 林 龍志

ぼくは、しょうがいがある人との心のふれあいのたいけんで心にのこっていることがあります。それは、車イスのおじいちゃんと温泉にとまったことです。なぜなら、車イスの人といっしょに入れる温泉があるからです。

ふつうの温泉は、車イスの人や手足の不自由な人は入れないけれど、山形の東根温泉には、車イスの人などが入れるように温泉のこうい室に、車イスなどの人せん用のリフトがあって車イスの人などが温泉に入れるようになっているせつびがあるしせつがあります。

出入口は、車イスの人などのためにちゅうしゃ場が広くて、自動ドアの開くスペースも大きいので入りやすいです。出入口の手前はいだんではなくスロープなのでのぼりやすく、べんりです。そのほかに、中も車イスの人などが通れるように道が広いのでべんりです。トイレは、広くて手すりがあり、べんきにうつりやすいことと通りやすくべんりです。車イスの人にも洗面台を使いやすいように洗面台の下には、スペースが空いていて車イスの下の部分がぶつからないようになっているので、水道に手がとどくようになっています。さらに、ベッドも考えられていて、車イスの人などがねるベッドは、電動で上下に動いて乗りうつりやすくなっているので車イスの人などがねれるようになっています。

このように、体の不自由な人でもかいてきにすごせるような工ふうがたくさんありました。そのおかげか、ほかの体の不自由なお客さんもとても楽しそうでした。

それでも、やはり、心にのこったのが温泉です。いつもは、いっしょにお風呂に入りた

くても入れないので、ここでしかできないきちょうなたいけんです。かし切り風呂なので、着がえもまわりの人を気にせずゆっくりできます。ぼくは、おじいちゃんと温泉に入れて心も体もぼかぼかになりました。おじいちゃんもぼくといっしょに温泉に入れてゆめのようなあとよろこんでいました。これから、だれでも楽しめる温泉が世界中に広がってほしいと思いました。